Wai-gaya salon's tracks

第1回 大河ドラマ「風林火山」をめぐって 平成18年9月19日
講師／佐倉一徳さん　NHK長野放送局企画総務部副部長　樋口　博さん　長野市産業振興部観光課課長

第2回 もっと楽しくて、元気な街づくりを 平成18年10月23日
講師／久米 えみさん　ながのクラッセ会長　樋口 敦子さん　ながのまちづくりカフェメンバー

第3回 スポーツによる街づくりを 平成18年11月21日
講師／鷲沢 幸一さん　アスレながの事務局長　室賀　豊さん　長野市アイスホッケー協会理事

第4回 写真で見る長野の街並み 平成19年1月23日
講師／清水 隆史さん フォトグラファーほか　常盤 昭二さん CMディレクター

第5回 健康と美容を保つために 平成19年3月22日
講師／虎羽里(トラバリ)ゼーラさん　アーユルヴェーダ・健康セラピスト

第6回 環境と街づくり ぱてぃお大門・TOiGOの設計に参画して 平成19年4月23日
講師／竜野 泰一さん　株式会社エーシーエ設計 取締役副社長［一級建築士］

第7回 信濃グランセローズの挑戦 平成19年5月21日
講師／木田　勇さん　信濃グランセローズ監督

第8回 スポーツマンシップの大切さ 平成19年8月29日
講師／荻原 健司さん　参議院議員・五輪金メダリスト

第9回 トウガラシの尽きせぬ魅力／「農」による地域活性を探る 平成19年10月24日
講師／松島 憲一さん　信州大学大学院農学研究科 准教授

第10回 命のバトンを渡す「ビオトープ」／ 長野市をビオトープネットワークシティに 平成19年11月14日
講師／松岡 保正さん　国立長野工業高等専門学校 環境都市工学科教授

第11回 簡単・おいしい・オシャレ/わたしのレシピができるまで 平成20年3月26日
講師／浜 このみさん　クッキング・コーディネーター

第12回 あなたのからだは「築何年」ですか? 平成20年7月14日
講師／角本 浩二さん　バランスアドバイザー　長野県健康管理士会会長

第13回 アメリカ生活で感じたあれこれ ―変化に対して前向きになることの大切さ― 平成20年8月19日
講師／針谷 友久さん　東京中小企業投資育成株式会社 主任(長野県担当)

第14回 市役所第一庁舎及び長野市民会館の在り方を考える 平成20年9月16日
講師／水野 守也さん　長野市総務部次長 兼庶務課長

第15回 長野パルセイロ ―優勝報告&JFL昇格への挑戦 平成20年10月29日
講師／パドゥ・ビエイラ監督、薩川了洋コーチ、貞富信宏キャプテン

第16回 農業再生とブランド化 平成20年12月3日
講師／町田 良夫さん　社団法人長野市農業公社 常務理事

第17回 地上の楽園は馬の背にあり 平成21年2月18日
講師／中山　修さん　中山法律事務所 弁護士

第18回 循環備蓄型の農業の実践 ‥ 宇宙のリズムにあった農業で一次産業の再生を試みる‥ 平成21年6月3日
講師／塩澤 研一さん　(財)いのちの森文化財団副理事長 (株)水輪ナチュラルファーム代表取締役

第19回 郷土を包む「おやき」平成21年7月14日
講師／小出 陽子さん　(同)ふきっ子のお八起 代表／信州おやきブランド化委員会 研究会リーダー

第20回 信州の伝統から生まれる食文化 ―漬物の新しい風― 平成21年9月2日
講師／宮城 恵美子さん　(有)宮城商店専務取締役／木の花屋

第21回 飯綱高原を、もっと住みよく、おもしろく! 平成21年11月24日
講師／志村 雅由さん　NPO法人 飯綱高原よっこらしょ 代表理事

第22回 JFL昇格に向けて 平成22年3月17日
講師／薩川 了洋さん　AC長野パルセイロ監督

第23回 先人の知恵を受け継ぐ~トチの実、雑穀、あんぼ~ 平成22年5月25日
講師／石沢 一男さん (有)田舎工房 代表取締役

第24回 3度目でつかんだオリンピック出場 平成22年7月28日
講師／新谷 志保美さん バンクーバーオリンピック代表 (株)竹村製作所 勤務

第25回 逃げないスケルトン ～夢と感動と勇気を～ 平成22年9月15日
講師／越　和宏さん　スケルトン競技3大会オリンピック日本代表 (株)システックス所属

第26回 Go to J ~"J"を長野に‥ いよいよ地域決勝大会!~ 平成22年10月25日
講師／鈴木 政一さん　長野パルセイロ・アスレチッククラブ強化本部長

第27回 グランドデザインの視点で「信州の食」を考える 平成22年11月30日
講師／千村 尚司さん　千村プレイン代表・ソムリエ

第28回 ご利益のある町づくり 平成23年1月26日
講師／川崎 史郎さん　フリーライター・市民記者ネット代表

第29回 防災と危機管理 平成23年6月1日
講師／安藤 長一さん　篠ノ井消防署署長、緊急消防援助隊長野県隊長(第二次派遣隊)

第30回 江戸のエコロジスト 一茶 平成23年8月30日
講師／マブソン 青眼さん　俳人・比較文学者

第31回 Waを生かしたまちづくり 長野はもっと元気になる 平成23年9月28日
講師／井上 裕子さん　信濃毎日新聞社編集局地域活動部長・編集委員

第32回 メディアから見た長野　平成23年10月19日
講師／田幸 淳男さん　信越放送取締役相談役

第33回 旅の楽しさと長野の魅力で世界をむすぶ　平成24年1月31日
講師／飯室 織絵さん　観光客向けゲストハウス「1166バックパッカーズ」運営

第34回 神輿で街の元気を呼び覚ませ　平成24年2月28日
講師／相原　哲さん　ながの町神輿連合会武睦会 会頭

第35回 長野とオリンピックレガシー　平成24年3月26日
講師／小林　亨さん　日本オリンピック委員会(JOC)勤務

第36回 すべてが一丸となって "ながのの宝もの。をJへ　平成24年4月24日
講師／薩川 了洋さん　AC長野パルセイロ監督

第37回 信州の野鳥たち　平成24年8月31日
講師／小宮山 義光さん　日本野鳥の会長野支部会員

第38回 見る 学ぶ 体験する 自然農法　平成24年9月27日
講師／塩澤 研一さん　農業生産法人㈱水輪ナチュラルファーム代表取締役/(財)いのちの森文化財団 副代表理事

第39回 善光寺表参道と中心市街地のWi-Fi計画　平成24年10月25日
講師／侭田 達男さん　NTT東日本 長野支店長

第40回 しなの鉄道長野以北延伸と営業戦略　平成24年12月6日
講師／山田　隆さん　しなの鉄道(株) 専務取締役

第41回 自然との共生　平成25年2月28日
講師／藤岡 牧夫さん　イラストレーター・絵本作家

第42回 花は人を育てる　平成25年4月9日
講師／矢澤 秀成さん　園芸研究家/ながの花と緑そして人を育てる学校校長

第43回 人と組織の笑顔の創造　平成25年5月31日
講師／近藤 京子さん　カウンセラー/NPO法人「わくわく志事研究所」所長

第44回 信州の分水嶺 ～山と川と里～　平成25年8月22日
講師／栗田 貞多男さん　写真家

第45回 長野市の魅力と不動産取引の発展性　平成25年11月20日
講師／鴨志田 明弘さん　野村不動産アーバンネット株式会社 企業不動産部専任部長

第46回 地域におけるバイオマス利活用について　平成26年1月29日
講師／天野 良彦さん　信州大学工学部物質工学科教授

第47回 AC長野パルセイロ ―私のチームマネジメントについて　平成26年3月3日
講師／美濃部 直彦さん　AC長野パルセイロ監督

第48回 わたしにとってのボランティア　平成26年4月16日
講師／丸田　勉さん　脚本・演出家 森の家 林りん館館長

第49回 金沢の未来と長野へのエール 新幹線で結ぶ金沢と長野の絆　平成26年5月26日
講師／浅野 邦子さん　株式会社 箔一 代表取締役会長

第50回 取材を通してみた長野の魅力 ～長野をもっと元気に!～　平成26年10月8日
講師／平沢 幸子さん　長野朝日放送　アナウンサー

第51回 チームマネージメント　平成27年1月19日
講師／本田 美登里さん　AC長野パルセイロ・レディース監督

第52回 本物のおもてなし ～加賀屋の経営理念とビジョン～　平成27年3月17日
講師／小田 興之彦さん　株式会社加賀屋 代表取締役社長

第53回 地域の元気をつくる「成長企業」は、ここが違う!～地方の中規模企業が成功するための法則とは?～　平成27年7月1日
講師／廣井 紀文さん　株式会社ディーテス 代表取締役社長

第54回 長野から宇宙へ! ～ローカル企業のチャレンジ～　平成27年8月25日
講師／羽生田 豪太さん　株式会社羽生田鉄工所 代表取締役

第55回 食を通じて発見　知られざる長野の魅力!　平成27年10月8日
講師／中島 麻希さん　1級フードアナリスト

第56回 摩訶不思議！長野の神社の霊感の世界　平成27年11月17日
講師／齋藤 安彦さん　宮司

第57回 大河ドラマ「真田丸」の舞台裏　～撮影を通して見た信州の魅力～　平成28年4月2日
講師／屋敷 陽太郎さん　NHKチーフプロデューサー

第58回 真田丸の時代を語る ～ 時代考証の舞台裏　平成28年7月2日
講師／平山　優さん　歴史研究家

第59回 寺町商家の運営で気づいた "食。の力　平成28年8月30日
講師／西村 知子さん　寺町商家運営アドバイザー

第60回 地域から社会を変えよう！行動する人の集まる港CREEKS　平成28年11月11日
講師／広瀬　毅さん　株式会社CREEKS 広瀬毅建築設計室代表

第61回 長野パルセイロ ―今シーズンの目指すチームづくり　平成29年3月13日
講師／浅野 哲也さん　AC長野パルセイロ監督

第62回 輝く女性の活躍で長野県の企業を更に魅力的に!　平成29年5月30日
講師／中島 恵理さん　長野県副知事

第63回 信州は橋の都　千曲川と犀川に架かる名橋／日本一美味しい飯山のお米　平成29年7月19日
講師／服部 秀人さん　信州・橋の日推進協議会専務理事/エコファーマー

第64回 少子高齢化時代の長野市を考える ～行政の政策現場から見えるもの～　平成29年8月23日
講師／平尾　勇さん　長野県観光機構エグゼクティブ・プロデューサー(前松本市商工観光部長)

第65回 長野県を元気に！ メンタルヘルス（心の健康）からの大きなヒント！　平成29年9月21日
講師／野池 裕子さん　ダイヤモンド・セルフ長野ファースト 代表・講師

第66回 陶芸の楽しみ　平成30年3月23日
講師／愛甲 宏明さん　炭平コンピューターシステム株式会社 代表取締役社長

第67回 話すって難しい?　平成30年4月23日
講師／坂橋 克明さん　フリーパーソナリティー

第68回 中世善光寺如来堂東向き　平成30年7月5日
講師／宮下 秀樹さん　株式会社守谷商会 執行役員、国立長野高専客員教授

第69回 これからの長野における大学教育　～人生100年時代の生き方と学び方～　平成30年8月23日
講師／金田一 真澄さん　公立大学法人 長野県立大学 学長

第70回 広域景観から見た善光寺 ～山岳信仰と他界意識～　平成30年9月26日
講師／笹本 正治さん　長野県立歴史館 館長

第71回 劇場が街を変える　平成30年11月30日
講師／山本 克也さん　長野市芸術館 総支配人

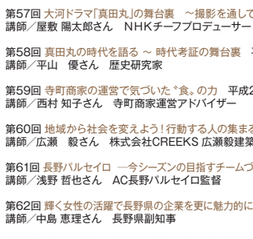
第72回 早春のマンデー・ジャズ・ナイト　平成31年3月11日
出演／AO VIVO(アォ・ヴィーヴォ):竹内 浩一・中川 雅紀・山極"おーじ優子・長谷川 裕晃・中田 寿寛

第73回 100年前に信州がめざしたもの ～県歌「信濃の国」に垣間見る～　平成31年4月25日
講師／山浦 直人さん　土木・環境なの技術支援センター理事、長野県立歴史館客員学芸員

第74回 人生に無駄なし!　令和1年7月18日
講師／松本 克幸さん　協栄電気興業㈱、取締役副会長

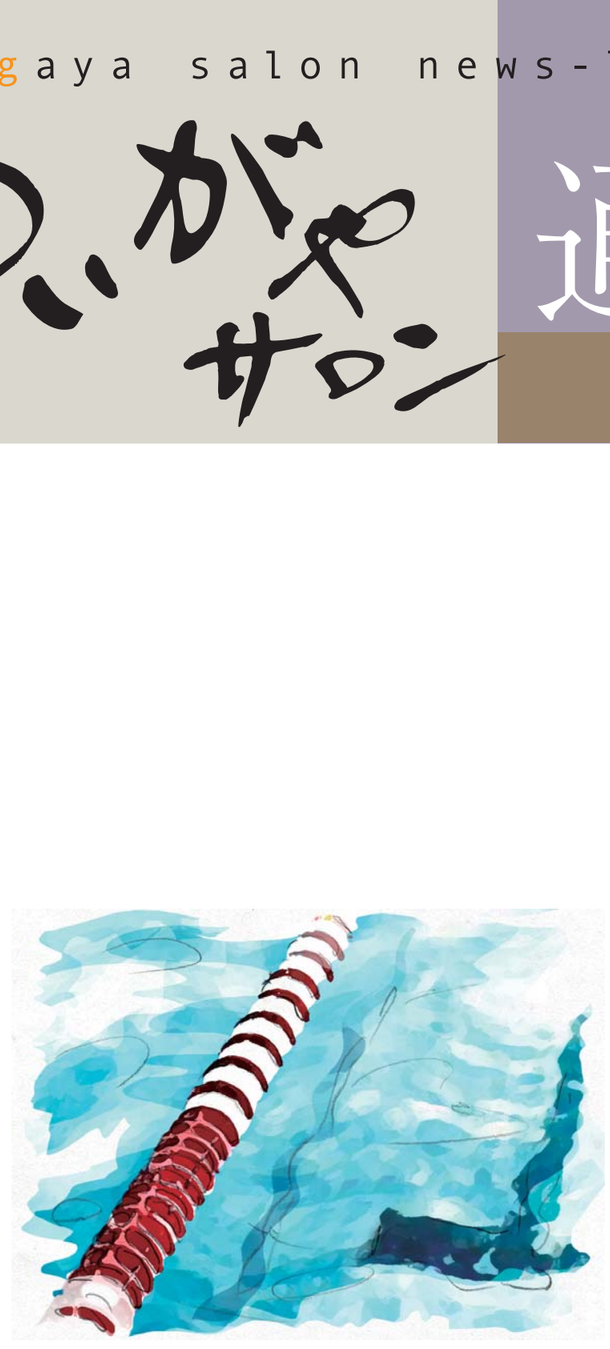
第75回 「企業経営」～SDGsと求められる企業モデル～　令和1年9月25日
講師／大室 悦賀さん　長野県立大学グローバルマネジメント学部教授/ソーシャル・イノベーション創出センター長

第76回 クリスマス"Jazz & Bossa"ナイト　令和1年12月6日
出演／AO VIVO(アォ・ヴィーヴォ):竹内 浩一・中川 雅紀・山極"おーじ優子・長谷川 裕晃・中田 寿寛



NUPRI
Nagano Urban Policy Research Institute
NPO法人
長野都市経営研究所
〒380-0834
長野市大字鶴賀問御所町1289-1丸本ビル2F
TEL.026-235-7911　FAX.026-235-6166
www.nupri.or.jp
e-mail:nupri@nupri.or.jp

wai-gaya salon news-letter
わいがやサロン通信
Vol.77
2020.1



NUPRI
Nagano Urban Policy Research Institute
NPO法人 長野都市経営研究所

第77回

東御市からセンターポールに日の丸を！

講師／**水間 源**　東御市役所 地域おこし協力隊

■座長：**岩野 彰**　場所／NUPRI事務所　1月23日（木）18:00～20:00

みずま　はじめ　1978年生まれ。東京都出身。5歳から始めた水泳でオリンピックをめざす。民間会社を経て、2019年から東御市企画振興部 文化・スポーツ振興課 スポーツ係 湯の丸高原スポーツ交流施設水泳担当。地域おこし協力隊。同市在住

東京五輪・パラリンピック開催の年が明けて初のわいがやサロンは東御市に昨年完成した高地トレーニング施設が舞台。地域おこし協力隊の肩書で運営に携わっている水間 源さんにお話をお聞きしました。

水泳に寄せる思い

昨年（2019）10月、東御市/湯の丸高原に高地トレーニング施設「GMOアスリーツパーク湯の丸」が完成しました。私はプール利用のPRや合宿日程の調整などを担当しています。

同年1月まではITシステム会社（国内最大航空会社グループ）に約20年在籍していました。職場結婚した妻の実家・上田市に帰省した折（2014.12）、地方新聞で東御市の高地トレーニング用プール構想を目にしました。

実は自分は5歳から水泳を始め、中学より東京スイミングセンターに移り、50m自由形新記録、全国高校総体で優勝を勝ち取るなどして「夢はオリンピック出場！」という日々を送っていました。恩師・平井伯昌先生をはじめ多くの水泳関係者、北島康介選手はじめ仲間とも出会えました。大学に入ってから伸び悩み、卒業を機に競技から引退して会社員になったのでした。

工学部出身を生かした企画開発、コールセンターの保守管理、開発した顧客データの管理システム等、システムの下流工程から上流工程業務経験を積み、チームリーダーを任されるまでになっていたわけですが・・・日本に高地トレーニングプールがあればメダルが獲得できる！プロジェクトに関われる方法はあるのだろうかと情報収集を始めました。

東御市における高地トレーニング

高地トレーニングは持久力を向上させる効果があることから、多くの日本のトップアスリートが練習に取り入れていますが、国内に環境整備の行きとどいた高地トレーニング施設は少なく、海外の施設に依存している状況でした。長野県の中でも上田市菅平高原は昔からサッカー、ラグビー等の合宿地として有名ですよね。小諸市も近年、高地トレーニング施設を造り、実績を上げるなか、東御市にも国から施設建設の誘いがあったことから、花岡利夫市長が夏のハイキング・冬のスキー客合わせて約55万人が訪問する湯の丸高原に国内初となる屋内プールを含む高地トレーニング施設を造り市を盛り上げようと構想を立ち上げたのでした。

ミッション

一方の私は情報収集するなかで地域おこし協力隊制度を知り、「スポーツツーリズムの推進」をミッションに、2020年度までの目標として、利用した選手が「金メダル4つ獲る！」を掲げて応募。金メダルを獲ればトレーニング地もマスコミから注目され、有名になっていくだろう→湯の丸の高地トレーニングプール施設をより多くの方に利用していただくことで水泳選手の記録の底上げ／ツール（プール）、タレント（オリンピック選手、水泳選手）を使って人を呼び込む→将来的には「高地トレーニングシティ 東御」としてブランド化し、市民の誇りとなる施設にしたいとプレゼンしました。東御市がめざすところとご縁があったのでしょう。地域おこし協力隊として採用され、市職員となりました。※地域おこし協力隊は2009年に始まった、国の地方創生プロジェクト。地方自治体が地域おこしや地域の暮らし等に興味のある都市部の住民を地域おこし協力隊員として受け入れ委嘱する（1～3年契約）。総務省が自治体に対し財政支援。定住を図る目的でもあり住民票を移すことが条件。

活動

～プロモーション活動/合宿全般/ふるさと納税/地域貢献～

地域の皆様、市役所職員、正副市長、水泳関係者、湯の丸関係者ほか多くの方々のご支援をいただきながら1年弱、活動してきました。合宿申し込みは日本水泳連盟等43団体からの計6,200泊超、利用者は小学生からトップアスリートまで。練習スケジュールの調整や地域の観光案内、問題対応をし、スタートしてから3カ月、事故なく安定した運営をさせてもらっています。

11/25～12/11に合宿した瀬戸大也選手は12/20アメリカにて400m個人メドレーで短水路世界新記録、1/19には200mバタフライで日本新記録を12年ぶりに更新しました。瀬戸選手に限らず、選手・コーチの頑張りにプラス時差なしの国内高地トレーニングというメリットを享受した暁の東京オリンピックが期待されます。オリンピックを控え、国内外選手を取り込みたいとさまざまな場所に出向いてプロモーションをしていますが、お陰で海外からも問い合わせが来ています。

とはいえ、運営の課題が2つ。1に資金の不足。市は地方創生拠点整備交付金以外は全額、ふるさと納税（個人・企業）で建設費13億円と毎年かかる経費（指定管理料）7,500万円を賄う方針を掲げましたが寄付は思うように集まっていません。今後も7億円超を市債で賄い、寄付金集めを継続して実施していきます。寄付は2年間で約4億円（H29、H30年度合計）集まりました。それほど魅力ある施設なのです。H31年度（R1）については、プール稼働後の利用者の中でベストタイムを出した選手が、その要因の一つに東御で高地トレーニングしたからとメディアで取り上げることが増え、実際の寄付金額も増えつつあります。トレーニングに来た選手誰もが東御という名を知らなかった、トウミと読めなかったと言っていたのが今や水泳関係者で知らない人はいないかもしれません。

2つ目の課題は湯の丸全体の宿舎不足。アスリート仕様の宿舎は100床程度しかなく合宿繁忙期に対応しきれない。

地元に人を呼び込む流れになればと始めたことなのに選手オンリーでは地元の理解を得られません。東御市民・長野県民に愛される施設にと長野県の小中学生を対象に水泳指導をしていきます。

ご清聴ありがとうございました。何か質問等があればお応えします。

Q：水泳を始めたきっかけは？

A：体が弱かったので。続けていくうちに丈夫になって記録も出るようになり・・・・。

Q：選手たちは練習以外の時間をどう過ごす？

A：気分転換したがる人が多いのでチーズ工房やワイナリーなどに案内します。周辺に紹介できる場所がたくさんあるのも魅力といえます。

Q：1年弱でここまでやれるのかとびっくりした。

A：前職と畑違いではあるがマネジメントをやる点、答えがないところで交渉してプロジェクトを進めていく点では一緒。選手・コーチ陣には他地施設との比較データを示せば当施設のよさが分かってもらえる。どんな場合でも、こちらが先に一方的に話すのではなく、誠意をもって相手の話に耳を傾け、相手の気持ちをよくさせられれば物事が進んでいくことも水泳・仕事体験から得てきました。

東御市は自治体規模がコンパクトなのがいい。皆さん行動力あって、よいと思ったことはすぐやろうとするのがすごいと思います。地域おこし協力隊としての3年間のうちに、自分がミッションと掲げたスポーツツーリズムのプロセスを創っていきたい。任期を終えた先も出来ればこの地域に根を下ろした将来をと考えています。

東御市の高地トレーニング施設にて大迫傑選手などの走りを間近で見た会員がスポーツの奥深さと施設のことを知らしめてほしいと、水間さんを講師推薦して今回の開催となりました。

大手企業の職をなげうって現在の仕事に打ち込む水間さんのお話・人柄に講演後のわいがやタイムでは時間が足りないほどでした。

「GMOアスリーツパーク湯の丸（湯の丸高原スポーツ交流施設）」は標高1750mのエリアに全天候型400mトラック、トレイルランニングコース、屋内プール等、トレーニングルームを有する宿泊施設やアスリート向けの食堂がある

屋内プール（50m・8レーン）

GMOアスリーツパーク湯の丸ヴィレッジに整備されたトレーニングルーム